

講義名称	保育内容 表現	担当教員名	櫻井 剛
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 選択必修	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	CMPM2123

授業のキーワード	表現 子どもの理解 指導法
授業の概要	主に造形分野について、より具体的な子どもの理解とともに指導法を実践し、子どものかかわり方について学びます。
期待される学習成果 (目標)	1. 発達段階に応じた表現活動について理解を深めます。 2. 指導案を作成、実践し、指導の方法や子どものかかわり方を身につけます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	指導法、子どもの発達と造形表現活動	ねらいと内容の設定、指導上の留意点、情報機器及び教材の活用法、学校の教科等とのつながり
2	教材研究	内容検討・教材準備
3	教材研究	内容検討・教材準備
4	教材研究	内容検討・教材準備
5	造形表現の模擬保育	模擬保育の実践
6	造形表現の模擬保育	模擬保育の実践
7	造形表現の模擬保育	模擬保育の実践
8	表現活動の研究	内容検討・教材準備
9	教材研究	内容検討・教材準備
10	教材研究	内容検討・教材準備
11	教材研究	内容検討・教材準備
12	教材研究	内容検討・教材準備
13	教材研究	内容検討・教材準備
14	教材研究	内容検討・教材準備
15	表現活動の実践と振り返り	表現活動の実践と振り返り

定期試験	実施しない
授業時間外学習	第1回～第2回、第8回～第9回 子どもの発達を理解する時間 第3回～第5回、第10回～第12回 教材準備に必要な時間 第6回～第7回、第13回～第15回 教材準備に必要な時間
評価方法	指導実践・課題 (80%)、授業への貢献度 (20%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	幼稚園教育要領 (平成29年3月告示) 文部科学省 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成29年3月告示) 内閣府・文部科学省・厚生労働省
参考文献	授業中に適宜資料を配布します。